

JIS 見直し コメントシート

No.	規格番号	委員名	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	JIS C 5914	渋谷隆 1	対応国際規格が改訂されているが JIS 改正の必要はないのか？	対応国際規格の改訂内容を説明願います。	対応国際規格の IEC62077 は日本担当であり、JISC5914 での規定を基に改訂の提案をしています。対応国際規格の改訂には影響はないため、確認を要望しました。
2	JIS C 5962	渋谷隆 2	対応国際規格がないとの説明と対応国際規格に×があるのはなぜか？	対応国際規格が廃止されたのかを説明願います。	<p>対応国際規格は用語規格の位置づけであるが、他の国際規格のかん合標準及び光学互換標準それぞれの総則にも必要な用語及び定義が規定されており、重複を避けるため廃止となりました。</p> <p>この規格で、廃止された対応国際規格と対応している部分は用語及び定義の部分だけであり、性能、試験などの要求事項は JIS 独自の様式で規定しています。また、JIS かん合標準及び JIS 光学互換標準で規定している用語及び定義は、この規格との重複を避けるようにしているため、この規格は今後も必要です。</p> <p>対応国際規格が廃止されたことに伴い、序文及び適用範囲の変更、対比表の削除が必要となりました。また、附属書 JC に制定予定として記載した JIS が制定され、附属書 JD の角形フェルールの基準コネクタに関する記載にわかりにくい点があったため修正が必要です。このため暫定確認を要望するものです。</p>

JIS 見直し コメントシート

No.	規格番号	委員名	コメント	変更提案	検討結果・対応案
3	JIS C 61300-2-9	渋谷隆 3	対応国際規格に×があるが、規定内容に変更はないのか？	対応国際規格の改訂内容は既に JIS に反映済みなのかを説明願います。	対応国際規格の変更点は、引用規格の IEC60068-2-27 が 1987 年版から 2008 年版に変わり、「引用規格に従う」、としていた部分に引用規格の内容を記載したこととなります。 現行 JIS C 61300-2-9 では、最新版 JIS C 60068-2-27（現行は IEC60068-2-27 の 2008 年版の IDT として制定されたもの）に従うとしており、書き方は異なるものの、規定の内容は改訂された対応国際規格の内容がすでに反映されているため、確認を要望しました。
4	JIS C 61300-3-24	渋谷隆 4	対応国際規格に×があるが、規定内容に変更はないのか？	対応国際規格の改訂内容は既に JIS に反映済みなのかを説明願います。	対応国際規格が廃版になり、IEC 61300-3-40 と合体して IEC 61300-3-55:2020 として発行されました。IEC 61300-3-55 で規定する JIS C 61300-3-24 に対応する部分は技術的変更がありません。なお、JIS C 61300-3-40 に相当する部分は、附属書 JA に代替測定系の情報を記載しており、IEC 61300-3-55 の規定内容に過不足はありません。そのため、確認を要望しました。

以上